

## ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

### <自動車整備科>

教育理念の実現を目標として、次の学識と能力を身につけ、所定の教育時間を修了し、卒業認定を受けた学生に「専門士」の称号を授与します。

- ・ 国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている
- ・ 就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている
- ・ サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている

### <高度自動車科>

教育理念の実現を目標として、次の学識と能力を身につけ、所定の教育時間を修了し、卒業認定を受けた学生に「高度専門士」の称号を授与します。

- ・ 国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている
- ・ 就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている
- ・ 自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている
- ・ サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている

### <ショールームスタッフ科>

教育理念の実現を目標として、次の学識と能力を身につけ、所定の教育時間を修了し、卒業認定を受けた学生に「専門士」の称号を授与します。

- ・ 自動車販売店のショールームにおいて、お客様に豊かなカーライフを提供できる知識と接客能力を身につけている
- ・ 商品・サービスの販売促進企画能力、プレゼンテーション能力を身につけている
- ・ 国家三級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている

### <車体整備専攻科>

教育理念の実現を目標として、次の学識と能力を身につけ、所定の教育時間を修了した学生に卒業の認定を行いません。

- ・ 車体整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている
- ・ ボデーの外板補修とソリッド・メタリックの塗装技能を身につけている
- ・ ボデー外板補修のための事故の見積もり、労働安全衛生・環境保全の知識を身につけている

### <国際自動車整備科>

教育理念の実現を目標として、次の学識と能力を身につけ、所定の教育時間を修了し、卒業認定を受けた学生に「専門士」の称号を授与します。

- ・ 1年次は、2年次、3年次の学習に必要な日本語能力の修得と、基本的な知識・技術を身につけている。
- ・ 国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている
- ・ 就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている
- ・ サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている

## カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

### <自動車整備科>

ディプロマ・ポリシーに掲げた学識と能力を身につけるため、次の基本方針に基づいてカリキュラムを編成します。

- ・自動車整備士養成施設の教育内容を十分網羅した専門科目により国家二級自動車整備士としての知識と技能を体感型の授業や豊富な教材を用いた実習を通して修得させる
- ・自動車のアフターサービス業界が必要とする職能を敏感にキャッチし、いち早く社会の要望に応えられる知識・技術を身につけさせる
- ・社会人として必要な素養を個々がアウトプットする機会を与えながら、キャリア教育を通して醸成する

### <高度自動車科>

ディプロマ・ポリシーに掲げた学識と能力を身につけるため、次の基本方針に基づいてカリキュラムを編成します。

- ・自動車整備士養成施設の教育内容を十分網羅した専門科目により国家一級自動車整備士としての知識と技術を実践的な授業を通して修得させる
- ・常に発展し続ける新技术を授業に取り入れ、修得させるとともに、将来の技術進歩に対応できる主体的な学びの素養を身につけさせる
- ・インターンシップを通して実践的な技術やコミュニケーション能力を身につけさせる

### <ショールームスタッフ科>

ディプロマ・ポリシーに掲げた学識と能力を身につけるため、次の基本方針に基づいてカリキュラムを編成します。

- ・ロールプレイングを活用した講義やインターンシップを通して実践的な技能やコミュニケーション能力、お客様対応力を身につけさせる
- ・自動車整備士養成施設の教育内容を十分網羅した専門科目により、国家三級自動車整備士としての知識を修得させる
- ・体感する授業を通して車両の新機構について商品知識を実践的に修得させる

### <車体整備専攻科>

ディプロマ・ポリシーに掲げた学識と能力を身につけるため、次の基本方針に基づいてカリキュラムを編成します。

- ・自動車整備士養成施設の教育内容を十分網羅した専門科目により車体自動車整備士としての知識と技能を十分な実習時間を通して修得させる
- ・車体整備の基礎理論となる車体構造と自動車材料の知識を修得させる
- ・インターンシップを通して実践的な技能を身につけさせる

### <国際自動車整備科>

国際自動車整備科の目標とする人材像は、「確かな整備技術力と適切なお客様対応を兼ね備えたトヨタのサービススタッフ(整備士)」です。

入学初年の国際自動車整備科1年次は、2年次、3年次の学習に必要な日本語能力の修得と、基本的な知識・技術の修得を目指します。

- 日本語による専門教育に対応できる能力と基礎的な自動車技術の学習
- 日本語能力試験N2取得のための日本語の学習
- 国家二級自動車整備士資格取得に必要な基礎数学の学習

また、国際自動車整備科の2年次と3年次の学習内容は自動車整備科と同じですので、目標とする人物像の詳細、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは自動車整備科をご参照ください。

## アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

1. 自動車に興味があり、自動車関連の仕事に関心・意欲のある方
  - ・将来自動車分野でご活躍いただくために、それに特化した教育を実施します。自動車に興味があり、関連分野で働く意欲をお持ちの方を求めます。
  - ・就きたい仕事について、ある程度の理解をいただいていることが必要です。
2. 相手の言葉に耳を傾け、自らの意思を的確に表現することができる方
  - ・コミュニケーション能力はすべての職種に必要な基礎能力です。整備の仕事においても、ただ車を修理するだけでなく、お客様に安心してお使いいただけるように、「お客様の要望を正しく聞き取り、点検・修理結果を的確に伝える」ことが求められます。
3. 国家資格取得に必要な基礎的な学力の素養のある方
  - ・仕事に就いていただく前提として、国家資格取得が必須の職種です。そのための勉強は入学後になりますが、授業がある程度理解できるために、自動車整備科では必要最低限の基礎的な数学の素養が、また高度自動車工学科では高校で培った数学の素養が必要です。
4. 自分の目標に向かって努力できる方
  - ・ただ指示されたことをやるだけの「受身の姿勢」では、学校でも実社会でも大きな成長は望めません。自分の目標を持ち、それに向かって努力する習慣を在学中に身につける意欲のある方を求めます。